

科目名	保健体育（バドミントン）	英語科目名	Physical Education (Badminton)	
開講年度・学期	平成 28 年度（後期）	対象学科・専攻・学年	4 年全学科（全クラス種目選択制）	
授業形態	実技および講義	必修 or 選択	必修	
単位数	2 単位	単位種類	履修単位	
担当教員	長田 朋樹（全クラス）	居室（もしくは所属）	講義棟 1 階 長田教員室	
電話	内線 185	E-mail	t-nagata1094@小山高専ドメイン名	
授業の到達目標	授業の到達目標との対応			
	小山高専の教育方針	学習・教育到達目標(JABEE)	JABEE 基準	
	1. 個人的技能および集団的技能を洗練し、ルールやマナーを基にラリーを楽しむことができる。	⑥	B, OE	d-4, f, g, i
	2. 選択体育の特徴を活かし、より高度なパフォーマンスを目指して仲間とともに課題解決に取り組むことができる。	⑥	B, OE	d-4, f, g, i
	3. リーグ戦の中で攻撃の仕方などを工夫して得点を積み重ねる面白さを感じることができる。	⑥	B, OE	d-4, f, g, i
	4. 授業準備、練習への取り組み、試合運営（審判、得点係等）などに積極的に携わり、練習やゲームを円滑に進行することができる	⑥	B, OE	d-4, f, g, i
5. スポーツの知識について理解・説明することができる	⑥	B, OE	d-4, f, g, i	
各到達目標に対する達成度の具体的な評価方法				
1-4. 練習およびゲームでの個人技術プレー内容・スキルチェックなどから総合的に判断し評価する。				
1-4. 授業時間内に記録する個人ワークシート・活動記録表などの内容から総合的に評価する。				
5. レポート課題などから総合的に評価する。				
評価方法				
1. 実技点（スキルチェック、活動内容、ワークシート・活動記録表の内容）：40%				
2. レポートおよび課題など：10%				
3. 授業態度（遅刻、忘れ物、服装、授業への参加度など）：50%				
授業内容				
1.	オリエンテーション、種目選択・抽選			
2.	ネットの張り方、グリップの握り方、素振り			
3.	フォアハンドストロークとバックハンドストローク（アンダー）、ミニゲーム			
4.	フォアハンドストロークとバックハンドストローク（オーバー）、ハイクリアショット、ミニゲーム			
5.	基礎打ち（ハイクリアショット、ドライブショット、ヘアピンショット、ドロップショット、スマッシュ）			
6.	バドミントン技術を向上させるためのコーディネーショントレーニング、ミニゲーム			
7.	新体力テスト			
8.	基礎打ち、サーブ、ルールの理解、ダブルスゲーム			
9.	基礎打ち、ダブルスゲーム			
10.	基礎打ち、ダブルスゲームによるリーグ戦			
11.	基礎打ち、ダブルスゲームによるリーグ戦			
12.	基礎打ち、ダブルスゲームによるリーグ戦			
13.	基礎打ち、ダブルスゲームによるリーグ戦			
14.	基礎打ち、シングルスゲーム			
15.	スキルテスト			
16.				
キーワード	SAQ, バドミントン, 体力向上, コミュニケーションスキル向上			
教科書	特になし（※講義については教材を教員が用意する）			
参考書	特になし（※講義については教材を教員が用意する）			
カリキュラム中の位置づけ				
前年度までの関連科目	保健体育			
現学年の関連科目	保健体育			
次年度以降の関連科目				
連絡事項				
○保健体育は出席することが前提条件である（オリエンテーションで説明する保健体育の規定欠課数を超える者については追加課題を与えるか、評価の対象としない場合がある）				
1. 授業は、講義と実技を組み合わせ実施することがある。				
2. 実技では、学校指定のジャージ、Tシャツ、短パンおよび運動靴を必ず着用すること。それ以外は一切認めない。				
3. 授業時の無駄な私語、身勝手な行動、途中退出および非協力的態度などをとる学生に対しては単位を与えない。				
4. 天候や進度状況により授業内容を入れ替えるなど一部変更することがある。				
6. 授業では汗を大量に掻く場合があるので、タオルや着替えを持参することが望ましい。				
シラバス作成年月日	平成 28 年 2 月 25 日作成			